



**BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY**

弘前学院大学

看護紀要

第20巻

Volume 20

2025

目 次

《研究報告》

老年期における家事とフレイルの関連	太 田 稀 綾 1
	今 井 樹 利 亜
	佐 藤 厚 子

《そ の 他》

栄養管理装置及び栄養管理用プログラムを用いて検討した大学生の体型別栄養バランス, 穀類, 油類, 砂糖類の総和摂取エネルギー量の特徴	木 田 優 子 11
	幸 山 靖 子
	藤 崎 和 弘
	佐 藤 厚 子

看護学生のコミュニケーション教育の動向：総説・レビュー論文の検討	阿 部 智 美 19
--	------------

弘前学院大学看護学部紀要 投稿規程

(目的と名称)

第1条 弘前学院大学看護学部（以下、本学部とする）は、本学教員の学術研究の奨励およびその成果を発表するために「弘前学院大学看護紀要」（以下「紀要」とする）を定期的に刊行する。

(発行)

第2条 本紀要の発行は、原則として年1回とする。

(投稿資格者)

第3条 筆頭著者は、1) 本学の専任教員、2) 非常勤講師、3) 看護学部紀要編集委員会（以下「委員会」とする）が認めた者、とする。

(投稿論文の受付および審査)

第4条 投稿原稿は他誌に未掲載でかつ投稿中ではない論文に限る。ただし、以下の場合には二重投稿とみなさない。

1) 大学の学士論文、修士論文、博士論文（既に機関リポジトリに全文を公開している論文は除く）

2) 科学研究費報告書、事業報告書

3) 学会・研究会の抄録集として発表した研究を論文とする場合

2 原稿の受付期間は前もって委員会より通知する。

3 提出先は事前に指定する委員会担当者とする。郵送の場合は期限当日の消印有効とする。

4 投稿原稿の採否は紀要委員会および紀要委員会が依頼した査読者（学外を含む）による査読を経て、紀要委員会が決定する。

5 紀要委員会の審査により、原稿の修正、削除、加筆および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

6 原稿の掲載順、印刷様式は委員会が決定する。

1) 投稿原稿受付E-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

(著作権)

第5条 掲載論文の著作権は本学部に帰属し、論文の電子化は了承されたものとする。ただし、著者が当該論文を利用する場合は本学部の許諾を必要としない。

(著者校正)

第6条 査読を経て、委員会で受理された投稿原稿については著書校正を1回行う。校正の際には委員会からの修正依頼以外の著者による加筆・修正は認めない。

(倫理的配慮)

第7条 人および動物が対象の研究は、当該研究領域の適切な倫理指針に従って計画され、倫理委員会で承認されたものでなければならない。また、本文中にはその旨および承認番号が明記されなければならない。

(利益相反)

第8条 利益相反の有無については、末尾の引用文献リストの前に付記すること。なお、利益相反に関しては「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest: COI）の管理に関する指針」等を参照すること。

(原稿執筆要領)

第9条 原稿執筆要領は別に定める。

附則

1) 2005（平成17）年10月13日 制定

2) 2020（令和2）年10月1日 一部改訂

3) 2024（令和6）年10月31日 一部改訂

弘前学院大学看護学部紀要 執筆要領

1. 論文の種目

- 1) 原著論文 学術上の価値がある新たな研究成果を記述したもの。
- 2) 研究報告 学術上の価値のある新たな研究成果を記述したもので、前掲の「原著論文」と比較すると完成度は劣るが、早く発表する必要があるもの。
- 3) 総説 特定の問題に関する研究について総括し、解説したもの。
- 4) 短報 研究の速報・略報として速やかに公表するもの。
- 5) その他 上記のいずれにも該当しないが、公表する価値のあるもの。

2. 論文の構成・記載様式

- 1) 論文は表紙、要旨、本文、文献、図・表・写真から構成される。
- 2) 表紙には、表題、著者名を明示する。英語表題（すべて大文字）、ローマ字表記で著者名をつける。
- 3) 原著論文および研究報告には400字程度の和文要旨、250字程度の英文要旨を添え、それぞれ日本語および英語のキーワードを3～5語のキーワードを示す。なお、英文要旨は必ずネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明書を添付する（様式は任意）。
- 4) 論文の長さは原則として設けないが、必要に応じて紀要編集委員会（以下「委員会」とする）において検討する場合がある。
- 5) 原稿はパソコンを用いてMicrosoft Wordか、テキストファイル形式で作成すること。ただし、図・表についてはこの限りではない。表紙、要旨、本文、文献は1つのファイルにまとめ、図・表は別のファイルで作成する。
- 6) 和文はA4用紙に1ページあたり1600字（40字×40行）横書き、表題は明朝体12ポイント、本文は明朝体10.5ポイントとする。句読点は「，」「。」を用いる。
- 7) 欧文はA4用紙1枚につき26行ダブルスペース、字体はTimes New Romanとし、必ずネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明を添付する。
- 8) 繰り返し出てくる名称・用語は初出時に正式名称・用語を示し、続けて（ ）内に略称を示す。
- 9) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語がないものは原語で示す。
- 10) 度量衡の単位は原則として国際単位（SI）を使用する。
- 11) 図・表・写真は番号を付け、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。
- 12) 利益相反（Conflicts of Interest: COI）の有無については、末尾の引用リストの前に付記する（例：本研究には利益相反として申告すべき内容は含まれていない）。開示すべきCOIを含む場合は、それを明記し謝辞には関係団体名を記載する。

3. 引用文献の記載様式

- 1) 文献は、最後に一括して引用順に掲載し、本文中の引用箇所の肩に1) -3) と表記する。

2) 紙媒体

〈雑誌〉 著者名：論文題名、雑誌名、巻、頁-頁、発行年。

【例】 弘前花子, 青森一郎, 学院次郎, 他:看護学実習における順序性と教育効果, 弘前学院大学看護学部紀要, 17, 24-32, 2019.

【例】 Loskutoff D. J.: Type 1 plasminogen activator inhibitor. Progress in Hemostasis and Thrombosis, 9, 87-115, 1989.

〈書籍〉 著者名（訳本の場合は訳者名）：書名（版表示），編集者名，頁-頁，発行地：出版社，発行年。

【例】城東澄子：青森県の健康活動（第2版），黒石三郎（編），52-77，弘前市：津軽総合図書，2018。

3) 電子媒体 Digital Object Identifier：DOIが付与されている場合には明記する。

〈DOIがある学術論文〉 著者名：論文題名，雑誌名，巻，頁-頁，発行年，DOI：00.0000（参照年月日）

【例】常盤多摩子：健康教育指導実践能力尺度の信頼性・妥当性の検証，看護科学研究，15，17-25，2018。
DOI：10.7655（参照2019年5月31日）

〈DOIのない学術論文〉 著者名：論文題名，雑誌名，巻，頁-頁，発行年，<http://www.xxxxx>（参照年月日）

【例】浅瀬石次郎：看護実践における情報リテラシー教育の評価，看護実践教育，12，5-14，2019。<http://www.kango.or.jp/education.pdf>（参照2018年12月17日）

〈DOIがある書籍〉 著者名（出版年）：書籍名，DOI: 00.0000（参照年月日）

【例】Misshell Kaur (2017): Essentials of Environmental Sciences and Hygiene for Nursing Students. DOI: 18.2245（参照2013年9月27日）

〈DOIのない書籍〉 著者名（出版年）：書籍名，<http://www.xxxxxx>（参照年月日）

【例】鍛冶鉄三郎（2015）：津軽の工芸。<http://www.kogei.or.jp/tsugaru.pdf>（参照2017年2月16日）

4) WEBサイト・WEBページ

著者名（投稿・掲載の年月日）：Webページの題名，Webサイトの名称，<http://www.xxxxxxxx>（参照年月日）

【例】浪館清史（2019年7月26日投稿）：弘前編，津軽の食文化研究会。<http://www.tsugaru/oisi/098>（参照2020年1月2日）。

4. 投稿手続きおよび提出書類

- 1) 投稿論文は「弘前学院看護学部紀要投稿申込書」とともに3部（2部はコピーでも可）を提出する。査読のため，本文にはページ数や行数を入れ込む。
- 2) 最終原稿提出時には投稿論文2部（1部はコピーでも可）およびMicrosoft Wordまたはテキストファイル形式で作成した電子データを保存したものを提出，またはE-mailで提出する。
- 3) 利益相反申告用紙も合わせて提出する。
- 4) 提出先E-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

附則：2020（令和2）年10月1日施行

2021（令和3）年6月3日一部改訂

2022（令和4）年2月28日一部改訂

2023（令和5）年8月24日一部改訂

編 集 後 記

お陰様で、弘前学院大学「看護紀要」第20巻は、研究報告1編、その他2編を掲載することができました。

今年度は新カリキュラムでの地域看護学実習、プライマリヘルスケア実習Ⅱ、健康づくり実習Ⅱが始まり、大変慌ただしい1年でした。その中で、紀要へ投稿して下さった先生方にはお礼申し上げます。

また、今年度から環境保護のため、看護紀要は電子媒体のみとし、冊子を中止、リポジトリにのみ公開となりました。別刷りも中止とし、「投稿規定」を一部改訂しました。

最後になりましたが、弘前学院大学「看護紀要」第20号の発行にあたり、査読、編集、校正の作業にご協力いただいた先生方に感謝申し上げます。

2025年3月31日

弘前学院大学看護学部紀要委員会

委員長 阿部智美

弘前学院大学看護学部紀要委員会

阿部智美、日下純子、大瀬富士子、齊藤史恵、村岡祐介

弘前学院大学 看護紀要 第20巻

2025年3月31日 印刷

2025年3月31日 発行

編 集 者

弘前学院大学看護学部紀要委員会

発 行 所

弘前学院大学看護学部

〒036-8231 弘前市稔町20-7

印 刷 所

やまと印刷株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY
Volume 20, 2025

CONTENTS

RESEARCH REPORT

RELATIONSHIP BETWEEN HOUSEWORK AND FRAILTY IN OLD AGE

MAAYA OHTA 1
JYURIA IMAI
ATSUKO SATOH

OTHER

*USING A NUTRITIONAL MANAGEMENT DEVICE AND A NUTRITIONAL MANAGEMENT PROGRAM,
THE CHARACTERISTICS OF THE NUTRITIONAL BALANCE BY BODY TYPE AND THE TOTAL ENERGY
INTAKE OF GRAINS, OILS, AND SUGARS IN UNIVERSITY STUDENTS WERE EXAMINED*

YUKO KIDA 11
YASUKO KOUYAMA
KAZUHIRO FUJISAKI
ATSUKO SATOH

TRENDS OF COMMUNICATION EDUCATION FOR NURSING STUDENTS: A REVIEW OF REVIEWS

TOMOMI ABE 19